

おやこ大学だより

2016年度 1号 (2016. 4. 1) Vol.59

ご挨拶

構内の桜も見頃を迎えます

目に映るありとあらゆるものが、桜色に染まったよう…。あたりは、四季の中でもっとも日本を象徴する景色となりました。最近、海外からもこの桜の時期に合わせてツアーが組まれるとか。美しいと感じるものは万国共通なんだなと思いました。同時に、生まれた時から一年に一度やってくる短い桜の花の命に、それぞれの想いがある私たちは、美しいと感じるだけじゃないんだよなあ…としみじみ思ったりもします。何年前かに、国際的な観点からという理由で、大学の入学を9月にしようという動きがありました。最近、この話はとんと聞かなくなりましたが、やはり日本人の心の奥底にしっかりと根付いてしまった桜の存在が大きいのではないかと感じています。この4月から、当センターの活動も10年目を迎えます。ひとつの大きな節目を迎えることに喜びと緊張感が同時にやってきます。時代の流れや社会、相談ニーズをとらえて、今後も活動していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



厚生労働省が「声」を募集しています

次のサイトで保育制度全般についての皆さんの声を募集しています。

「保育制度全般の改善について あなたの声をお聞かせください」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000117081.html>

保護者の声を乱暴だけ的確に表現したメールが発端となり、今までにないほど「保育」への関心が高まっています。保護者の方はもちろん、施設保育に従事する方、支援者、子どもを育てていない、または育て終わった方々からも、様々な声が届くといいなと思います。立場や環境は違っても、子どもの存在が重要であることには変わりはありません。子どもの視点、子どもの最善の利益が埋もれないよう、多くの意見、議論がなされることを期待しています。

入園、入学おめでとうございます



この時期、新しい社会にお子さんを送り出す保護者の皆さんは、お子さん以上に緊張しているかもしれません。特に初めての子の入園入学となれば、親も同時に「1年生」です。不安が表情や雰囲気からあふれ出ていると、敏感にキャッチするお子さんもいます。「うまく馴染めるだろうか」と心配から、降園、下校後のお子さんに「今日どうだった？何があった？誰と遊んだ？」などと声をかけたくなるかもしれません。けれども、お子さんにとっても初めての生活環境ですから、その負担は大きいものです。帰宅後の様子を観察し、話してくるようならよく聞いてあげる、何も言わないけれど表情が暗い、普段と様子が違うなどが見られたら、園の先生に相談するのがいいと思います。慣れてきたころ5月の大型連休があります。そのころまでをひとつの目安にして、お子さんの様子を見ていくといいかもしれません。

おやこ大学・専門相談について

おやこ大学 2016年度 1期を開催します。これまで22回、およそ220組の修了生親子が誕生しました。2016年度 1期は23回となります。「転居したてで草加のことがわからない」という保護者の方も、気軽にご参加ください。お問い合わせ、参加予約のご連絡お待ちしております。また、今年度の専門相談の各分野のスケジュールを更新しました。当センターホームページにて確認できます。受け付け順となっておりますので、日時をご確認のうえ電話にてご予約ください。

センター長が変わりました (2016年4月より)

新センター長あいさつ

このたび徳永先生からセンター長を引き継ぐことになりました花本と申します。当センターには準備段階から関与はしていますが、運営に直接携わるのは初めてになります。不手際等あるかもしれませんが、徳永前センター長やセンタースタッフに教を請いながら、子どもの最善の利益という観点から、支援の輪を拡げたい。センターの活動を支えていきたいと思っています。当センターは、今年度で10周年を迎えますが、次の10年に向けて、関係のみなさまには、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



旧センター長あいさつ

前センター長の徳永です。6年間どうもお世話になりました。おやこ大学は、会田さん、星島さんの企画で、2013年に本格始動し、修了生は220組を超えます。毎年、参加申込みのお電話が増え、今ではすっかりセンターの大きな柱の一つに成長しました。ちよっと他にはない講座として始まりましたが、こういうのも必要とされていたんだなとしみじみ思います。運営にあたっては、講師の先生方、ボランティアさんにも大変お世話になっております。この場をお借りし改めて御礼申し上げます。お子さんの成長にあわせ、子育て環境は変わっていくのですが、センターは変わらず松原団地にありますので、おやこ大学・自主活動修了後も、折に触れとはいわなくても、たまに思い出していたけると嬉しいです。私も、たまに?思い出します(^_^)/



♪ 獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターからのお知らせ

イベントのお知らせ

2016年4月26日(火)～ おやこ大学 1期開催 4月5日(火)より参加受付開始予定です。

専門相談のお知らせ

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 2016年4月22日(金) 10時～13時 | 名尾 典子先生 (文教大学、臨床心理士) |
| 2016年4月26日(火) 14時半～16時半 | 作田 亮一先生 (獨協医大越谷分院子どものこころ診療センター) |
| 2016年5月19日(木) 10時～13時 | 吉原 重美先生 (獨協医大小児科准教授、アレルギー・呼吸器疾患) |
| 2016年5月19日(木) 13時～16時 | 池田 暁史先生 (文教大学、精神科医・臨床心理士) |
| 2016年5月24日(火) 10時～13時 | 林 恵津子先生 (埼玉県立大学准教授、臨床発達心理士) |

※すでに定員一杯でキャンセル待ちとなる場合があります。お問い合わせください。

お問い合わせ・投稿はこちらまで

獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター

〒340-0041 埼玉県草加市松原1-1-10 TEL. 048-946-1781 FAX. 048-946-1782

E-Mail: kodomolc@dokkyo.ac.jp

子どもに関する相談(無料) 月～金 9時～17時) 048-946-1771

※祝日はお休み